

令和5年度 学校評価(自己評価及び学校関係者評価) 角館高等学校全日課程

	1	2	3	4
項目	学習指導について	生徒指導について	進路指導について	特別活動について
今年度重点目標	<ul style="list-style-type: none"> 基礎・基本の徹底と個に応じた学習指導の充実を図る 自ら学ぶ力の育成 学び合いにより論理的な考え方を育成する指導 資料の読解力、論理的思考力、表現力の育成 総合的な探究の時間(D-Time)の実践による生徒の「育てたい資質・能力」の育成 	<ul style="list-style-type: none"> 品のある整容と態度、公共の場におけるマナーの徹底 交通ルールの遵守、安全指導の徹底 自己管理能力の育成 	<ul style="list-style-type: none"> 進路意識(進学・就職)の高揚と雰囲気作り 生徒の自己管理を促し、将来の職業を見据えた指導 キャリア国際部との連携 家庭学習の充実・徹底 コロナ対策・共通テスト対策 面接指導の充実 進路実現のための個人指導 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒会活動(部活動、委員会)、特活関連行事を円滑に運営する 生徒が主体的に活動できる場をつくる
実施状況・達成状況	<ul style="list-style-type: none"> 生徒向けの文理選択説明会を早く行ったことで、進路選択についてしっかりと考えさせることが出来た。朝学習や家庭学習等余裕をもって取り組み姿勢や一歩踏み込んだ学習を目指す姿が弱い。(1年部) 朝学習、週末課題、スタディサブリの動画配信等で弱点補強を行い、学力の向上に努めさせた。長期休業中には学習計画を立てさせ、補習や予備校講師によるセミナーに参加させて模試対策に取り組ませた。(2年部) 放課後の学習場所として図書室を活用し、勉強する生徒も増えた。朝学習や週末課題も適切だったと思う。(3年部) 新傾向の問題に対応し、思考力や判断力を深める授業実践を心がけた。ICTを活用した授業実践では、生徒のつばやきを拾うことで理解の深化が得られたり、全体での共有につながったりと利点を確認することができた。(国語科) 新科目である「地理総合」と「世界史探究」「日本史探究」が始まった。昨年度から実施の「歴史総合」との連携が課題であったが、各担当が試行錯誤しながら、授業を進めることができた。来年度の共通テストなどを視野に入れながら、授業を行うことができた。(地歴公民科) 学習課題で基礎基本を定着させ、授業では応用力を育成する問題も扱った。また、補助プリントを用いて学力の定着を図った。週末課題や長期休業中は進捗や学力、進路目標等を考慮し、適切な課題を与えた。生徒同士が学び合う場を設定し、理解を深めさせた。(数学科) 授業で生徒が主体的に学び合う時間を多く設けた。教員の工夫次第で多くの単元で実施できる可能性がある。実験観察の機会を増やせた科目もあれば学習内容が高度化しているために実験観察の時間をとれない科目もあった。(理科) 基礎基本の定着を図るために、知識のインプットや音読活動、Q&Aなど言葉発するアウトプット活動を授業に盛り込むことができた。ペアワークを多用し、相互に学び合いながら理解力の向上を図った。応用力を向上させるために身近な社会的、文化的、科学的な話題の英文を読ませることにより、現代社会の課題について考えさせたり、意見を述べさせた。(英語) 到達目標の設定とスキルテストの実施により、各種目において生徒が主体的に学習に取り組むことができた。(保健体育課) 社会人講師を活用、クラスルーム上で振り返りが有効だった。録音したり撮影したりした音源、映像を振り返りの活動に取り入れ、改善につなげた。(芸術科) 授業内容の精選や教材の工夫、授業の展開の工夫を行った。社会人講師を活用したことで生徒の興味・関心を高め、知識の深化を図ることができた。(家庭科) 教科書の内容が濃く、演習等は長期休みを活用する等対策を講じたが苦心している。課題研究では教室とP.C室に分かれて資格取得・ビジネスプランニング・ツアープランニング・商品開発等のそれぞれの班活動を行ったことで多くの成果が得られた。(商業・情報科) 	<ul style="list-style-type: none"> 始業式や衣替えの時期に各学年で整容指導を実施した。各祭典時の町内巡視は実施し、生徒の規範意識を高めることができた。 春秋の街頭指導・交通安全教室を実施した。秋の街頭指導では、「一声・マナーアップ運動」も一緒に、PTA役員も参加した。 終業式や学年集会でスマホ等の使い方に関して注意喚起した。いじめアンケートは2回実施し、教員や学年部、いじめ防止対策委員会の協力の下、迅速に対応することができた。また、図書情報部の主催で情報モラル教室を実施することができた。 	<ul style="list-style-type: none"> 今年度の大学模擬講義ではできるだけオンライン授業を少なくして対面での授業を重視した。生徒の知識欲を刺激し、教養の幅を広げ、進路意識の高揚という目標はある程度達成できた。 1年生の大学訪問を10月に実施。訪問大学は限られたが1年生の早い段階から大学進学イメージはもたせることができた。 進路講演会を今年度から各学年で実施。適切な時期に学年の実態に合わせて講演できた。 保護者と中小企業の経営者による就職模範面接、校長と教頭から公務員対面面接を実施。緊張感をもたせ、かつ有益な助言をもらえるよい機会となり、結果も良かった。 Classi・スタサブともにすべての生徒に十分に活用できたとは言えない。活用する生徒とそうでない生徒の差が大きかった。課題配信、ポートフォリオ的な活用についてはどちらもある程度機能させることができていた。 今年度のチューター制は、3年部ができるだけ志望動機を担当し、他学年の職員から面接・小論文の担当とした。結果的には、国公立の推薦・総合型の合格者数が減ってしまったので上手く機能したとは言いがたい。今年度も職員の小論文の研修会を実施。継続して実施して職員の研鑽の場とした。 	<ul style="list-style-type: none"> 各行事の企画・運営を安全面に考慮しながら、次の行事を実施した。 4月 生徒会入会式、生徒会委員会、応援歌練習(屋外)、生徒総会 5月 県南・全県総体及び野球大会壮行式 6月 角高祭 7月 秋田駒ヶ岳登山(1年生)、野球甲子園予選応援 8月 球技大会(一週間連日3日間実施) 9月 運動会 10月 芸術鑑賞、生徒会役員選挙、春高バレー県予選応援 1月 生徒会委員会活動 2月 スキー教室(1・2年生)
成果と課題	<ul style="list-style-type: none"> 一斉指導が多く、もっと個に応じた指導が必要である。学習への意識付け、評価が変わり、赤字という概念もなく、やりつらくなった。(1年部) スタサブの課題には各教科対策だけでなく、総合型選択、公務員試験、英検対策、就職者向けDVD講座等があるので今後講座をうまく活用すること、教員側から与えられた課題だけでなく、生徒自らが主体的に講座を活用していくことができるように促していきたい。(2年部) ICTの授業活用について、思考の共有が即時的に可能になっている。今後も学びに資する利用を提示できるよう研修していきたい。(国語科) 授業内容をいかに精選し探究的な活動を取り入れていくのか、総合科目の内容を探究科目にどのように繋げていくか、今後計画していかなければならない。(地歴公民科) 基礎基本はある程度の定着を見たが、出題形式が変化すると対応できなくなるため、相応の問題演習が必要である。ICTの効果的な活用についての検討が必要である。上位層は主体的に学習に取り組む姿がみられたが、中位層をいかに伸ばしていくかが重要な課題であると思う。(数学科) 基礎基本の定着がなされていない生徒が多いと感じる。定期考査のための勉強になっている。評価方法や評価規準などは今以上に科目間の情報共有を行う必要がある。(理科) ペア、グループワークを多用し、英語に積極的に向かう姿勢を育成できた。上位層、中間層の停滞等を解決することが困難で、語彙や文法の知識不足をどのように指導していくかが課題である。効果的なリスニングの指導も研究していきたい。(英語科) 今年度から実施した救急救命講習会において、心肺蘇生法、AEDの使い方、応急処置などの知識の習得や実践力を向上させることができた。(保健体育課) 鑑賞の授業を通して他者の考えを尊重する態度を養うことができた。自分たちの演奏を客観的に振り返ることで、主体的な活動を促すことにつながった。(芸術科) タブレットを使用して調べただけでなく、発表のスライド作成やレポート作成など、こちらの想像を上回る効果的な使い方ができる生徒が増え、課題に対して意欲的に学ぶ能力が高まったと感じることが多かった。(家庭科) プログラミング等は演習を取り入れながら、知識技術の定着に力を入れた。地域の基幹産業である観光で地域と関わりの持ちながら地域課題に対しての解決方法等にも今後取り組んでいきたい。(商業・情報科) 	<ul style="list-style-type: none"> 整容面等(化粧・茶髪など)で注意を受ける生徒が多く、全職員で取り組む必要がある。 保護者や交通安全委員の協力の下、街頭指導等を行い、課題を共有することができた。自転車に係わる事故や外部からの苦情もあったので、さらに注意喚起をしていきたい。 スマホ等の不適切な使用など、依然としてルールを守らない生徒も多く、それが人間関係のトラブルやいじめ等に起因している。根気強く注意・指導していく必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 進路講演会や大学模擬講義などの行事では生徒の進路意識を高める目標はある程度達成できた。これらの行事では講師の力量で生徒へのインパクトが変わってくる。業者に仲介してもらうことで職員の負担も軽減されているが講師の選定には十分な配慮が必要。準備が遅れて講師の確保が難しくなったのは反省すべき点である。 夏の特別セミナーなどの行事がオンラインから再び対面での講座に切り替えた。やはり、緊張感と講師の熱量が違う。今後でもできるだけ対面で行いたい。 就職・公務員の成績は良好であった。朝学習や外部講師による補習、面接指導等計画的な指導が実った。学年部や就職支援員、進路指導部とうまく連携がとれていた。 国公立大志望者の成績が思わしくなかった。志望者数が減ったことが要因の一つでもある。3年生4月の段階で50名いた志望者の半数近くが志望を諦めてしまったことになり、目標に向かってもっとやらせる勉強も必要なのではないか。 生徒数が減少してきて全体的な学力の低下は避けられないが、上位層の点数はここ数年大きな変化はない。浮きこぼれないように、各学年層ごとの適切な指導が必要である。 進路指導部会をもっと開催して情報交換を密にしていかなければいけない。 	<ul style="list-style-type: none"> 今年度は感染症が落ち着いたものの、猛暑の影響で球技大会を一週間遅らせ、安全第一を最優先に実施することで、生徒の安全を確保することができた。また、1年生の秋田駒ヶ岳登山は2年目になり、本校の行事の核となりつつある。コマサを見ながら校歌「駒草」、校是「駒草精神」を実感しながら、仲間と共に協力し合いながら実施することができた。 各行事において、生徒が主体的に行事に取り組めるよう、生徒会・委員会と職員が連携を深めながら実施していきたい。
評価	B	B	B	B
次年度への提言	<ul style="list-style-type: none"> 長期休業中の一斉補習について、大学進学者に特化した選択式の受講にするなど期間や実施方法を再検討する必要がある。課題提示前に教科間で内容や量についてのすり合わせが必要である。 主体的、自主的に学ぶに向かう姿勢を育成したい。全員の進路志望達成のため、学年部で進路検討会を実施し情報共有に取り組む。 「情報」が大学入学共通テストで実施されることに対応するために、補習等で対策していかなければならない。(2年部) 朝学習、週末課題の内容と、いつまで実施するか検討が必要である。共通テスト受験者で進路決定者の1月の指導について、学年末考査を受けさせしっかりと勉強させた。(3年部) 各学年で身につける力を明確にした評価規準、理型選択者へ「文学的文章」学習の効果的な保障の手立ての検討が必要である。(国語科) 来年度は「地理探究」「政治経済」など新課程では初めての授業も始まる。今年度までの「地理総合」「公共」との連携に関しては、今年度から始まった歴史科目の成果を参考にしながら進めていく必要がある。(地歴公民科) 特選用のテストは実施できないのか?校内規定集では同じ問題が原則だとあるがテストが簡単だと勉強しない。「情報」の指導に数学科としてどのように関わっていく必要があるか検討する。(数学科) 学習時間を確保させるための取組が必要である。(理科) 基礎・基本を確実にするための指導と、応用力を付けさせるための指導、英語でのやり取りを中心とした活動のバランスをうまく取っていく必要がある。(英語) 主体的・対話的で深い学びに向けた授業の在り方、ICTの効果的な活用法を検討する必要がある。(保健体育課) 地域連携等を通しての学びの多い授業の展開を模索する。基本的な発生の指導などの充実を図る。(芸術科) 社会人講師の活用(調理、着付け、消費者・金融教育)、体験活動を取り入れることを検討する。(家庭科) 共通テストに対応するための情報に関するカリキュラムや課外補習の検討、出前講座実施と地域企業との関わりを大切にすること。(商業・情報科) 	<ul style="list-style-type: none"> 全職員による指導の徹底。 スマホの使い方、ルールに関する指導の継続。 女子のスカート・スラックス選択制への対応。 生徒指導規定の見直し。 生徒指導に関連する法令改正への対応。 	<ul style="list-style-type: none"> 進路行事等では年度当初にしっかりと計画を立て、係分担任をはっきりさせることで行事の効果が最大限に発揮できるようにすること。 学力層に開きがあるので個別の学習指導や個々の面談を繰り返して、生徒の実態を把握し、生徒個々の実情に合わせた指導を行うこと。 進路学習会や特別セミナー、補習等を積極的に活用させ上位層の伸び幅をなくすること。 入試の過去問や受験レポート等を今後の指導に生かせるようにデータの整理し、蓄積すること。 チューター制を利用して組織的に一人一人の受験を支えるために各学年での制度の利用の仕方を議論し有効に活用すること。 来年度は共通テスト5年目。新課程入試最初の年。特に情報に対しての対策は学校全体でフォローしなければいけない。 	<ul style="list-style-type: none"> 次年度は、10周年記念事業があり、職員と生徒が協力し合いながら充実した記憶に残る行事にしたい。 学校行事等の在り方を見据えながら、計画や準備を早め、生徒会や委員会が主体的・自主的な運営と活動の機会をますます増やしていきたい。 ホームページの更新を充実させることが目標だったが、多くの部活動で更新することができた事が良かった。生徒の活動を保護者を始め地域住民に更に広めていきたい。
学校関係者の御意見	<ul style="list-style-type: none"> 生徒への学校アンケートの「教師は、生徒の習熟度を常に把握し、一人一人にきめ細かい対応をしてくれていますか」の質問に肯定的な回答が75%であり、4人に一人はそう思っていない。対策が必要である。 目標の設定やICTの活用と、中学校で行われている取り組みも見られた。習熟度に応じた学習も見られ、工夫されていることが分かった。 ICTの活用の充実、効果的な共有テスト対策、主体性をはぐくむ授業形態の構築等、多岐にわたる学習課題に積極的に取り組んでいる。 アンケート結果を見ると、先生方の評価も良く努力していることが身についてきていると感じた。 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒への学校アンケートの「学校は悩みがあったときに親身に相談に乗ってくれますか」の質問に8割が肯定的な回答であることが素晴らしい。 高校生という多様な時期の指導は難しいものがあると思えます。さわやかな高校生を見ていると大人もすがすがしくなります。 洋風履装スマホ等の利用において、ルールを守らない生徒が少なからずいるとのこと。生徒指導部を主体としながらも、学年全体、学校全体で共通認識をもって取り組むべき課題だと思われる。 	<ul style="list-style-type: none"> 進学、就職と幅広い進路選択への対応に本当に感謝です。ふるさと教育、キャリア教育等の指導を充実させることで進学し出でなく、本当の進路指導ができると思います。 進学、就職両面における各種補習や個別指導が充実しており、生徒数減少の中にあっても、進路実績が上位層を中心に維持されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒主体での活動は難しいと思いますが、少しでも自分たちでやったという思いが生徒の思い出にもつながると思います。 生徒の主体的な活動の場として特活行事の果たす役割は大きい。生徒会や委員会の取組を含め、活動の一層の充実を期待したい。 資料を見ると、上位大に行くことができなくても、少しづつ上位にあがってきている選手が多く見受けられます。来年度は更に上を目指してほしいと思う。
評価	A A B B B A A B	A A B B B A A B	A A A B A A A B	A A A B A A A B
他学部に校御関連運営意見に・学校御関係者	<ul style="list-style-type: none"> 保護者の回答と生徒の回答で、意識や評価がかなり差がある。学校報やHPを充実させ、良さをPRする方法を考えた方がよい。 ○生徒への学校アンケートの「学校は図書資料を充実させ、生徒の学習活動を積極的に支援していると思いませんか」の質問に足して、85%が肯定的な回答をしている。担当の努力に敬意を表する。 高校の授業を久しぶりに参観させて頂いたが、授業改善が進んでいると実感した。特に、英語が文法中心から話すことを大切にしていると感じた。 仙北市唯一の高校として小・中学生の手本、憧れになってほしいと思えます。 教師の学校評価の自由記述に生徒に寄り添えない言葉に心が痛みました。「ここしかなかった」という思いの生徒もいるかもしれませんが、「本校を選んでくれた」という思いで指導してほしいと思えます。 アンケートによる保護者の満足度は3年生の保護者が高い。3年間の学校、教師による積み重ねの努力が理解されたことによるものと推察します。 少子化を止めることは出来ないが、角館高校の生徒の減少を少しでも食い止めるためにできることは、楽しい学校にしていこうとすることだと思おう。 生徒数の減少傾向を踏まえ、学校としてできることはないか、さらに検討する必要があると思う。同時に生徒数減少をプラス思考でとらえ直し、指導形態やクラス編成に生かす方図りも探してほしい。 来年度、創立10周年記念行事は職員、生徒が協力しより良い記念事業をなすようよろしくお願いします。 			

令和5年度 保護者による学校評価アンケート

令和5年12月実施

※数値はA「とてもそう思う」B「まあまあ思う」の合計%

項目	番号	評価内容	R05	R04	R03
学校経営・総務	1	学校は、教育目標や教育方針について、十分説明していると思いますか。	79.4	74.8	80.8
	2	学校は、学習や行事などの教育活動の様子について、十分説明していると思いますか。	72.3	68.2	75.5
	3	学校は、学校のよさや特色を十分説明していると思いますか。	69.7	65.8	73.6
	4	PTA活動を通して、保護者と教師との相互理解や連携は深まっていると思いますか。	54.3	54.4	57.3
	5	学校は、保護者や地域の意見を十分聞いて、学校経営に取り入れていると思いますか。	62.3	60.9	66.5
	6	学校は、事故や災害、伝染病など万が一の場合に対応する危機管理体制を整えていると思いますか。	85.3	78.8	83.3
HR経営	7	教師は、人間関係を大切に、いじめのないクラスづくりをしていると思いますか。	70.6	71.1	75.1
	8	教師は、規律あるクラスづくりをしていると思いますか。	78.2	77.3	78.7
	9	教師は、生徒の人権を尊重し、誰にでも公平に接していると思いますか。	71.1	69.3	72.0
	10	教師は、生徒や保護者からの相談に適切に対応していると思いますか。	80.1	79.2	79.6
	11	教師は、クラスの問題行動や不登校などに適切に対応していると思いますか。	60.7	61.8	63.7
	12	教師は、学習や行事に対して生徒の意欲を高める指導をしていると思いますか。	72.3	73.5	73.0
学習指導	13	教師は、授業において生徒の学力を高めるために、指導方法を工夫していると思いますか。	59.0	61.5	68.4
	14	教師は、生徒の学力を把握し、一人一人にきめ細かい指導をしていると思いますか。	57.1	56.6	62.4
	15	教師は、取り組みやすい内容や量の課題を与え、生徒の家庭学習を促していると思いますか。	63.3	64.0	71.5
進路指導	16	学校は、進路指導の計画や内容を分かりやすく説明していますか。	74.6	72.1	81.1
	17	学校は、進路実現のために必要な資料や情報を十分提供していると思いますか。	73.9	67.5	76.0
	18	学校は、面談や補習、模試等を充実させ、生徒の進路実現に十分取り組んでいると思いますか。	82.7	81.2	83.7
	19	学校は、様々な進路活動を通して、働く意義や学ぶ意義を考えさせる指導をしていると思いますか。	71.1	69.1	75.6
生徒指導	20	学校は、生徒に生活のルールを守らせるための指導に十分取り組んでいると思いますか。	80.8	77.2	79.7
	21	学校は、いじめなどの問題行動を未然に防止し、解決に向けて適切に対応していると思いますか。	54.0	54.9	62.1
	22	学校は、生徒の安全を守るため、注意喚起や巡回指導等に十分取り組んでいると思いますか。	82.7	72.9	73.7
特別活動	23	学校は、生徒が充実した学校生活を送れるような学校行事を計画し、実施していると思いますか。	85.5	76.6	80.9
	24	学校は、生徒に達成感を抱かせるような部活動の指導に取り組んでいると思いますか。	67.8	67.6	71.3
保健教育・相談	25	学校は、校舎内外の整備や美化活動に十分取り組んでいると思いますか。	79.1	76.5	80.8
	26	学校は、生徒の健康を維持するために必要な情報提供や指導に十分取り組んでいると思いますか。	78.4	75.9	78.9
	27	学校は、不登校や悩みなどに親身に対応し、教育相談体制も十分確立していると思いますか。	79.1	53.5	56.7
教育情報・図書	28	学校は、ホームページを積極的に運用し、情報を公開していると思いますか。	63.7	64.5	67.8
	29	学校は、個人情報の保護や情報モラルの指導を十分行っていると思いますか。	76.8	73.2	74.7
	30	学校は、図書資料を充実させ、生徒の学習活動を積極的に支援していると思いますか。	52.4	59.2	64.6

令和5年度 生徒による学校評価アンケート

令和5年12月実施

※数値はA「とてもそう思う」B「まあまあ思う」の合計%

項目	番号	評価内容	R05	R04	R03
学校の説明	1	学校は、教育目標や教育方針について、分かりやすく説明していると思いますか。	83.5	80.1	87.1
	2	学校は、学習や行事、活動の予定について日ごろから十分説明していると思いますか。	85.9	87.6	89.7
	3	学校は、学校のよさや特色について、保護者や地域にも十分説明していると思いますか。	71.9	70.4	79.9
HR経営	4	教師は、人間関係を大切に、いじめのないクラスづくりに心がけていると思いますか。	84.9	81.7	88.9
	5	教師は、規律あるクラスづくりをしていると思いますか。	90.6	88.1	95.8
	6	教師は、誰にでも公平に接し、相談などにも真剣に対応してくれますか。	85.9	81.8	86.2
	7	教師は、クラスにトラブルがあったとき、適切に対応してくれますか。	85.1	84.7	91.8
授業や学習	8	教師は、学習や行事に対してやる気を起こさせる雰囲気をつくっていると思いますか。	87.4	86.6	92.4
	9	教師は、1時間ごとに目標や課題をはっきりさせた上で授業を進めていますか。	87.8	91.4	97.6
	10	教師は、生徒の理解を助けるために、分かりやすい授業を工夫していますか。	88.8	87.9	94.7
	11	教師は、生徒の習熟度を常に把握し、一人一人にきめ細かい対応をしてくれていますか。	75.4	72.1	81.9
	12	教師は、授業において考える場面や話し合う場面、発表する場面を設定していますか。	93.1	95.8	98.0
進路指導	13	教師は、取り組みやすい内容や量の宿題や課題を与え、生徒の家庭学習を促していますか。	78.4	86.8	90.8
	14	教師は、進路指導の計画や内容を分かりやすく説明していますか。	90.0	87.4	93.5
	15	教師は、進路実現のために必要な資料や情報を十分提供してくれていますか。	92.3	91.2	95.8
	16	教師は、面談や補習、模試等を充実させ、進路実現に熱心に取り組んでくれていますか。	91.4	92.7	96.9
生徒指導・危機管理	17	教師は、様々な進路活動を通して、働く意義や学ぶ意義を考えさせる指導をしていますか。	88.6	89.2	91.8
	18	学校は、生活のルールを守らせるための指導に十分取り組んでいると思いますか。	90.4	89.6	94.2
	19	教師は、問題行動やトラブルに十分対応していると思いますか。	83.7	83.1	91.5
	20	学校は、生徒の安全を守るため、注意喚起や巡回指導等に十分取り組んでいると思いますか。	91.7	89.1	94.2
特別活動	21	学校は、事故や災害、伝染病など万が一の場合に対応する体制を整えていると思いますか。	82.5	80.7	88.0
	22	学校は、生徒が充実した学校生活を送れるような行事を計画し、実施していますか。	85.3	83.5	90.8
	23	学校は、部活動の活性化を図り、充実した指導ができるよう取り組んでいる。	83.9	81.9	88.4
保健・教育相談	24	学校は、生徒会活動の自発性、自主性を補償している。	80.9	78.8	86.1
	25	学校は、校舎内外の整備や美化活動に十分取り組んでいると思いますか。	85.3	84.5	89.7
	26	学校は、生徒の健康を維持するために必要な情報提供や指導に十分取り組んでいると思いますか。	86.2	87.0	94.0
図書教育情報	27	学校は、悩みがあったとき、親身に相談に乗ってくれますか	80.2	78.6	86.6
	28	学校は、ホームページを積極的に運用し、情報を公開していると思いますか。	68.0	67.6	75.4
	29	学校は、個人情報の保護や情報モラルの指導を十分行っていると思いますか。	89.8	87.5	90.4
	30	学校は、図書資料を充実させ、生徒の学習活動を積極的に支援していると思いますか。	84.9	78.6	86.7